

### 大分ケーブルテレコムが「第34回府内戦紙」出陣！ 昨年到现在いて2回目、8月3日(金)大分市内で開催 企業スローガンは「獅子奮迅 ～奮い立つ稀代の名将～」



< 昨年の様子 >

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市、代表取締役社長:中谷 博之)は、2018年8月3日(金)、大分県大分市で行われる「第34回府内戦紙 天華勇舞～府内から新たな時代の幕開け!平成の世のラスト戦紙～」に出陣します。当社が府内戦紙に出場するのは今回で2回目で、企業スローガンは「獅子奮迅 ～奮い立つ稀代の名将～」。

武田信玄といえば、中国の兵法「孫子」を取り入れた「風林火山」の戦旗が有名。「風:疾(はや)きこと風の如く」、「林:徐(しず)かなること林の如く」、「火:侵掠(しんりやく)すること火の如く」、「山:動かざること山の如く」ですが、大分ケーブルテレコムは地元メディア企業として、以下のような「風林火山」を掲げます。

- 風:**最新のサービスを提供し、お客様の暮らしに新たな価値を創造するとともに、夢と感動をお届けします。
- 林:**365日安定したサービスの提供に努め、社会に安心・安全を約束します。
- 火:**お客様の声に耳を傾け、ニーズを深く理解するとともに、迅速な対応を心がけます。
- 山:**豊かなコンテンツを創造し、様々なコミュニティを通じて地域になくてはならない存在を目指します。



< 今年の山車(イメージ) >

その他、武田信玄は「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」という言葉を残し、人を大切にし、戦略を立てる際も人の心に重きを置き、戦いを勝ち抜いたと言われています。大分ケーブルテレコムは今期、武田信玄の信念同様、人財の創生に力を入れております。適材適所で個人の才能を十分に発揮できる集団を作り、「その人財こそが城であり石垣であり堀である」という教訓を胸に、全社一丸となって府内戦紙にも取り組むとともに、人からの信頼が厚かったと言われる信玄のように、お客さまの声に耳を傾け、ニーズを深く理解するとともに、お客さまの生活になくってはならない存在になることを今後も目指してまいります。また、武田信玄といえば、赤や朱を主体とした「赤備え」が挙げられますが、J:COMのコーポレートカラーは、ワードマーク(ロゴ)にも使用されているブランドプロミスを表現した「J:COM Orange」。祭り当日は、夏の夜に鮮やかに映える「J:COM Orange」もぜひ、ご覧ください！

大分ケーブルテレコムは、平成最後の府内戦紙を大分市民の皆さんと一緒に盛り上げ、大分の今後ますますの発展に寄与してまいります。

#### **参考情報**

##### **◆府内戦紙とは**

府内戦紙(ふないぱっちゃん)は、大分市民が参加できる新しい祭り文化をつくるべきとの声から生まれた、毎年8月に行われる「大分七夕祭り」の初日を飾るお祭りです。チームごとの山車と踊り隊が「セイヤ！セイヤ！」の掛け声と共に大分中心街を練り歩きます。「府内(ふない)」は大分市の古称、「戦紙(ぱっちゃん)」は、夜に浮かび上がる鮮やかな山車がぱっちゃん(めんこを意味する大分県の方言)の絵柄のように見えることからこの名がつけられました。

大分ケーブルテレコム株式会社について [www.jcom.oct-net.ne.jp/](http://www.jcom.oct-net.ne.jp/)

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市)は、大分県下11自治体でケーブルテレビ、インターネット、固定電話、モバイル等を提供しているケーブルテレビ事業者です。株式会社ジュピターテレコム(J:COM)のグループ局として、先進性のある高品質な情報・エンターテインメントの提供を通じ、地域社会の発展に寄与することを目指しています。また、「J:COM チャンネル大分」(地上111ch)、「J:COM ホルトチャンネル」(地上121ch)で地域情報番組を放送しています。